

私立学校におけるクラスターの発生について（第1報）

令和3年7月31日（土）、本市内の私立学校において、発症後も登校するなどして感染が拡がり、クラスターが発生しました。

現在、患者の行動歴など、積極的疫学調査を実施しており、その結果把握した濃厚接触者等に対しては、健康観察及びPCR検査を適切に実施することとしています。

1 経緯等

- ・7月28日（水）、私立学校の生徒1名が体調不良のため、医療機関を受診し、PCR検査を受検したところ、翌日、陽性が確認されました。
- ・また、7月30日（金）、同学校の生徒3名が体調不良のため、医療機関を受診し、PCR検査を受検したところ、同日、陽性が確認されました。
- ・このため、患者と接触の可能性のあった同学校の教員2名及び生徒35名について、7月30日（金）にPCR検査を実施したところ、翌日、教員1名及び生徒2名の陽性が確認されました。

結果判明日	人数	公表日
7月29日	1名	7月30日
7月30日	3名	7月31日
7月31日	1名 2名	8月1日 市外の保健所から公表

- ・患者のうち、4名は宿泊療養施設で療養し、2名は療養先を調整しています。なお、1名は既に療養を終了しています。
- ・本人等からの申告によれば、発症前14日以内に渡航歴はありませんが、1名は県外への往来があります。

2 患者概要

(1) 年代

区分	10代	30代	計
教員	—	1	1
生徒	6	—	6
合計	6	1	7

※このうち10代2名は、市外在住者のため本市患者に含めない。

(2) 居住地

広島市

(3) 症状

軽症